

第28回舞鶴柔道選手権大会要項

- 1 日時 令和6年2月4日(日)
午前8時30分開場 午前9時30分開始
- 2 会場 舞鶴文化公園体育館2F 柔道場 (TEL 0773-77-1850)
舞鶴市上安久420番地 (日星高校裏)
- 3 主催 舞鶴柔道連盟
- 4 後援 京都府柔道連盟、舞鶴市教育委員会、舞鶴市スポーツ協会、京都新聞
- 5 申込先 〒624-0909
京都府舞鶴市天台新町65 大田 正夫 宛
※必ず封筒表に「舞鶴柔道選手権大会申込書在中」とご記入ください。
※舞鶴柔道連盟ホームページからも申込用紙のダウンロードいただけます。

6 申込締切

令和6年1月12日(金) 必着

(郵送のみ受け付けます。申込期限以降は受付いたしませんのでご注意ください。)

5 試合要項

(1) 出場資格

- ・令和5年度全日本柔道連盟に登録している者に限る。
- ・個人情報(氏名・所属団体等)をパンフレット、新聞、web上にて使用することに同意する者
(大会の申し込みをされた時点で同意したものとみなします。)
- ・高校一般及び、中学生ともに団体戦の出場チーム数は2チームまでとする。
- ・高校一般の部において年齢・段位は不問とする。

(2) 試合方式

- ・団体戦 高校一般の部・中学生の部ともに男女混合のトーナメント戦とし、参加チームが4チーム以下の場合はリーグ戦とする。
- ・個人戦 高校一般 男子 有段の部・段外の部 それぞれ無差別
高校一般 女子 有段の部・段外の部 それぞれ無差別
すべての階級においてトーナメント戦とし、参加者が4名以下の場合はリーグ戦とする。
中学生の個人戦は行わない。

(3) 団体戦チーム編成

1チームにつき監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とし、**中堅は女子選手**とする。

(4) 試合方法

- ・試合は、国際柔道連盟試合審判規定による。(中学生の部は、少年大会特別規定による。)
試合時間は、団体戦、個人戦とも3分間とする。
- ・団体戦の判定基準は、「技あり」以上とし、勝数、得点と同数の場合、代表戦を1回行う。代表戦の試合時間は3分間とし、勝敗が決しない場合は僅差判定により勝敗を決する。
- ・個人戦の判定基準は、「技あり」「指導差2」以上とし、差がない場合はGSを2分間行う。それでも差がない場合は僅差判定で勝敗を決す。
- ・団体戦で一度退いた選手は再出場はできないものとする。

(5) 表彰

団体戦、個人戦とも優勝、準優勝、第3位とする。

(3位決定戦は行わない。)

6 負傷

試合中の負傷に対する応急手当は行いますが、それ以外の処置・責任は各団体でお願いします。また、本大会中の負傷に対する傷害保険に加入しておりますので、保険手続に際し団体・保護者に連絡する場合があります。

7 参加料

- ・団体戦1チーム 3,000円、個人戦1名 1,000円(高校一般の部のみ)
- ・振込のみの受け付けとし、当日支払いはできません。
- ・当日欠席の場合の返金はいたしませんのでご了承ください。

8 その他

- ・各団体1名以上の審判員のご協力をお願いします。
- ・個人戦の申込みは、実力順で記入してください。
- ・トーナメントの抽選結果は大会当日の発表とします。
- ・大会当日に、**団体戦オーダー表**を試合開始までに本部へ提出してください。
- ・申込選手の変更及び当日参加は認めません。
- ・開会式は9時30分より行いますので、大会役員の案内により整列をお願いします。

9 備考

(1) 脳震盪の対応について選手及び指導者は下記事項を遵守して下さい。

- (a) 大会前1カ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ることが必要です。
- (b) 大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することはできません。(なお、至急専門医の診察及び検査を受けてください。)
- (c) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、再開の許可を得ることが必要です。
- (d) 当該選手の指導者は必要に応じて大会事務局及び関係機関(柔道連盟等)に対し書面により事故報告を提出してください。

(2) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について

発症の有無を各所属の責任において必ず確認して下さい。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関に置いて的確な治療を行って下さい。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場を禁止します。ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認めます。

10 問合せ 舞鶴柔道連盟 大会運営部 大田 正夫

090-9613-0055

(携帯ショートメールでも差し支えありません。)

お願い

- ・本大会は、身体的にも、精神的にも発育・発達途上の中学校生徒も出場する大会であることを常に念頭においていただき、特に危険防止について考慮してください。また、礼法を正しく行われることはもとより、姿勢・組み方についても御配慮、御指導をよろしくお願いします。

舞鶴柔道連盟HP

